

第2章 情報企画室図書班

【構成員】

担当教授(兼): 正橋 直哉

図書係長: 堀野 正太 / 図書系職員: 池 美沙子 / 事務補佐員: [2 名]

【図書整備委員会】

委員長 准教授: 今宿 晋

委員 准教授: 南部 雄亮, 山中 謙太

助教: 佐藤 浩司, 前田 健作, 木原 工, 尾澤 伸樹, 関根 良博, 白石 貴久

オブザーバー 教授: 正橋 直哉

総務課長: 千葉 史朗

1. はじめに

図書室は、19 世紀から今日までの材料科学に関する幅広い領域の資料を収集・所蔵し、所内・学内はもとより国内外の研究者に幅広いサービスを提供している。

2. 組織・運営

図書室は事務部総務課に図書係として属するが、情報企画室のもと、図書整備委員会とも連携して運営され、係長を含む職員 2 名と事務補佐員 2 名の体制で業務を行っている。一方、図書整備委員会は所内の若手教員 9 名で構成され、研究者の視点から、図書室へ助言を行うとともに、利用者への広報活動や年度初めに新たに入所した所員向けのオリエンテーション等の実施においても図書室に協力している。このような委員会の存在は、学内他部局にはない本所の特徴と言える。

3. 活動状況

3.1 蔵書管理

(1) 蔵書の充実

図書整備委員および研究室からの図書の推薦や、新刊案内などを参考に、物質・材料科学研究に有意な図書を購入し、蔵書の充実を目指している。また、研究室や研究者が個別では購入しにくいシリーズ本や電子ブックなども必要に応じて購入し、2018 年度は合計 151 点の図書（電子ブック 3 点含む）を購入した。

(2) 次年度雑誌購入希望調査

3～4 月に調査を行い、利用頻度の低い電子ジャーナル 6 誌の 2019 年度購読中止を決めた。

(3) 蔵書点検

毎年 2 回、蔵書の定期点検を行い、不明図書・発見図書の確認や書架の整備を行っている。2018 年度は 8 月 27 日～31 日、2019 年 2 月 13 日～20 日に実施し、それぞれ 4 冊ずつの図書が新たに不明となり、累積の不明図書冊数は 74 冊となった。図書は共有財産であることから、機会あるごとに貸出手续の徹底や返却期限の厳守を呼びかけていきたい。

3. 2 利用者サービスの充実

(1) 利用者向け講習会

① 図書室オリエンテーション (2018 年 4 月 27 日 (金) 開催、49 名参加)

毎年春に金研の新構成員のため、図書整備委員を講師とした主要データベースの講習と、図書室利用案内を組み合わせたオリエンテーションを行っている。

取り上げたデータベース) Alloy Phase Diagrams、CiNii、ICDD、ICSD、Int. Tables for Crystallography、J-PlatPat、KAKEN、Phase Equilibria Diagrams、SciFinder、Scopus、Web of Science

② 初学者向け英語論文執筆ワークショップ (2018 年 6 月 19 日 (火) 開催、26 名参加)

本所若手研究者 (主に学生) を対象に、英語論文の執筆の基本的なチェックポイント等を学ぶ、外部講師による講習会を実施し、参加者全員から好評を得た。

講師) 今宿晋准教授 (図書整備委員長)

井上淳也氏 (エルゼビア・ジャパン ソリューション・コンサルタント)

内容) 出版社の立場からジャーナル論文執筆のヒントの紹介

③ 英語論文執筆ワークショップ (2018 年 11 月 9 日 (金) 開催、21 名参加)

本所若手研究者 (主に助教、PD、DC) を対象に、英語論文の採用率向上のためのスキル等を学ぶ、外部講師による実習をまじえた講習会を実施し、参加者全員から好評を得た。

講師) デビッド・キプラー氏 (カクタス・コミュニケーションズ学術出版トレーナー・コンサルタント)

内容) テーマ 1: 英語プレゼンテーションワークショップ、テーマ 2: 論文添削セミナー

(2) 「金研図書室だより」の発行 (2018 年 4 月 11 日、11 月 30 日発行)

図書室の最新情報の広報と認知度の向上のため、「金研図書室だより」を発行し所内に配布した。

3. 3 利用環境・施設の整備

(1) 設備の更新・改善

懸案の 2 号館 2 階書庫備付の老朽化した空調機器の更新を行った。

(2) 書庫狭隘化への対策

2017 年度後半から開始した書庫の整理が完了し、図書を 2 号館 2 階書庫に集約でき、利便性が向上した。合わせて既存の図書の配置に余裕をもたせ今後の増加に備えることができた。

(3) 利用者用パソコンの更新

2020 年 1 月にサポートが終了する Windows7 パソコン 4 台を Windows10 パソコンに入れ替えた。

4. 今後の課題・懸案等

4.1 不明図書への対策

貸出手続きをせず持ち出される図書が常に一定数あるため、教授会において、図書担当教授より蔵書点検(3.1②)の結果に基づき注意喚起のアナウンスを行った(10月17日および2019年3月18日開催の教授会)。また7月下旬より2号館2階書庫を常時施錠とし、所内者は学生証・職員証により入庫、所外者はカウンターで申請の上入庫、と手続きを変えた。

4.2 電子ジャーナル費用

購読タイトル削減や出版社との交渉等の全学的な努力にもかかわらず、本学全体の電子ジャーナル経費は増え続けている。円高により価格上昇が落ち着くこともあるものの高止まりのままであり、依然として予断を許さない状況が続いている。

5. 統計 (2018年度)

■施設

総面積	書架総延長	図書収容能力	総閲覧座席数	パソコン台数	複写機台数
534 m ²	2.39km	6.6万冊	50席	6台	3台

■資料

		和書	洋書	合計
蔵書	蔵書冊数	18,689冊	60,534冊	79,223冊
	年間受入冊数	137冊	165冊	302冊
雑誌	所蔵雑誌タイトル数	396誌	987誌	1,383誌
	年間受入雑誌タイトル数	108誌	118誌	216誌
	電子ジャーナル数(全学)	15誌	13,272誌	13,287誌
	新聞	6紙	1紙	7紙

*蔵書は研究室貸出分や製本雑誌を含む

*「受入」とは購入や受贈した図書を図書室の蔵書として登録すること

■サービス

開室日数 (有人)	サービス対象		入室者	貸出		文献複写		現物貸借	
	教職員	学生		貸出	(うち搬送)	他館から 取寄	他館へ 提供	借用	貸出
238日	320人	204人	11,918人	3,169冊	(895冊)	52件	220件	3件	14件
前年度比			111人減	156冊増	(137冊減)	11件増	54件減	1件減	4件減

*開室日数は有人の日数のみ

*貸出の「搬送」とは学内他館より取寄せた図書